

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公表番号】特表 2003-509468 (P2003-509468A)

【公表日】平成 15 年 3 月 11 日 (2003.3.11)

【出願番号】特願 2001-524620 (P2001-524620)

【国際特許分類】

**A 6 1 K 45/00 (2006.01)**

**A 6 1 K 39/395 (2006.01)**

**A 6 1 K 47/42 (2006.01)**

**A 6 1 P 17/02 (2006.01)**

**A 6 1 K 38/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 47/42

A 6 1 P 17/02

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 哺乳動物体において、アルファ V ベータ 3 インテグリンが細胞外マトリックス蛋白に結合するのを阻止する段階を含む、癒着形成を阻害する方法。

【請求項 2】 細胞外マトリックス蛋白に結合するためのアルファ V ベータ 3 インテグリンの結合部位を遮断する拮抗剤分子の癒着阻害量を外科患者に投与することを含む、術後癒着形成を阻害する方法。

【請求項 3】 前記細胞外マトリックス蛋白がフィブロネクチンである請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】 前記拮抗剤分子が、モノクローナル抗体 L M 6 0 9 の抗原結合性部位を有する請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】 前記拮抗剤分子が、モノクローナル抗体 L M 6 0 9 である請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】 前記拮抗剤分子が、F a b、F a b 2、F v、およびそれらの混合物からなる群から選択される、モノクローナル抗体 L M 6 0 9 の抗原結合性部分である請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】 拮抗剤分子が、生理的適合性溶液中で、1 ミリリットル当たり少なくとも約 50 ミリグラムの濃度で投与される請求項 2 に記載の方法。

【請求項 8】 前記拮抗剤分子がモノクローナル抗体である請求項 2 に記載の方法。

【請求項 9】 前記拮抗剤分子がペプチドである請求項 2 に記載の方法。

【請求項 10】 前記拮抗剤分子がペプチド擬似物質である請求項 2 に記載の方法。

【請求項 11】 前記拮抗剤分子が蛋白質である請求項 2 に記載の方法。

【請求項 12】 前記拮抗剤分子が、吸収性固体担体と共に投与される請求項 2 に記載の方法。

【請求項 13】 前記拮抗剤分子が、吸収性ゼラチン担体と共に投与される請求項 2 に記載の方法。

【請求項 14】 前記拮抗剤分子が、担体としてペーストと共に投与される請求項 2 に記載の方法。

【請求項 15】 前記拮抗剤分子が、腹腔内に投与される請求項 2 に記載の方法。

【請求項 16】 前記拮抗剤分子が、皮下に投与される請求項 2 に記載の方法。

【請求項 17】 前記拮抗剤分子が、静脈内に投与される請求項 2 に記載の方法。

【請求項 18】 癒着形成の改善に適切な組成物であって、アルファ V ベータ 3 インテグリン上で細胞外マトリックス蛋白に結合する結合部位を遮断する拮抗剤分子および該分子のための生理学的に許容し得る吸収性固体担体を含む、前記組成物。

【請求項 19】 前記細胞外マトリックス蛋白がフィブロネクチンである請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 20】 拮抗剤分子が、モノクローナル抗体 LM609 の抗原結合性部位を有する請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 21】 拮抗剤分子が、マウスモノクローナル抗体 LM609 である請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 22】 拮抗剤分子が、ヒト化モノクローナル抗体 LM609 である請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 23】 前記分子が、Fab、Fab2、Fv、およびそれらの混合物からなる群から選択される、モノクローナル抗体 LM609 の抗原結合性部位である請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 24】 拮抗剤分子がモノクローナル抗体である請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 25】 拮抗剤分子がモノクローナル抗体の抗原結合性セグメントである請求項 24 に記載の組成物。

【請求項 26】 前記吸収性固体担体がゼラチンである請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 27】 拮抗剤分子が蛋白質である請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 28】 拮抗剤分子がペプチドである請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 29】 拮抗剤分子がペプチド擬似物質である請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 30】 組成物の包装された剤形であって、該組成物は術後癒着の改善に適当であり、アルファ V ベータ 3 インテグリンが細胞外マトリックス蛋白に結合する結合性部位を阻止する拮抗剤分子を該分子のための生理的に許容し得る担体と共に含み、包装された阻害剤組成物が癒着形成を阻害するために使用できることを示す標識を更に含む、前記剤形。

【請求項 31】 前記細胞外マトリックス蛋白がフィブロネクチンである請求項 30 に記載の包装された剤形。

【請求項 32】 前記拮抗剤分子が、モノクローナル抗体 LM609 の抗原結合性部位を有する請求項 31 に記載の包装された剤形。

【請求項 33】 前記拮抗剤分子が、マウスモノクローナル抗体 LM609 である請求項 31 に記載の包装された剤形。

【請求項 34】 前記拮抗剤分子が、ヒト化モノクローナル抗体 LM609 である請求項 31 に記載の包装された剤形。

【請求項 35】 前記拮抗剤分子が、Fab、Fab2、Fv、およびそれらの混合物からなる群から選択される、モノクローナル抗体 LM609 の抗原結合性部位である請求項 31 に記載の包装された剤形。